

第6回 厚木愛甲環境施設組合事業報告会（工事説明会） 概要

名称	第6回厚木愛甲環境施設組合事業報告会（工事説明会）
日時	令和4年10月15日（土）午後7時から午後8時20分まで
場所	依知南公民館 2階集会室
説明員	13人（組合5人、事業者8人）
参加者	25人

【概要】

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 報告内容

- (1) ごみ中間処理施設整備事業の概要について（資料参照）
- (2) 施設整備の内容について（資料参照）
- (3) 環境影響評価事後調査について（資料参照）
- (4) 事業スケジュールについて（資料参照）
- (5) 全体工事計画について（資料参照）
- (6) 当面の工事予定について（資料参照）

4 質疑応答

参加者)

排水工事についてですが、この辺の地域の排水路の状態については、事前に調査をされて分かっていると思います。出水で、度々相模川への放水部分が崩落することがありまして、ここ何年間かは落ち着いておりますが、工事の進捗によっては、排水が集中する時期もあると思います。この辺も住宅開発が進んでいて、今建てる住宅はみんな庭をコンクリートで固めてしまっていて、降雨後の排水が急激に増加するような傾向があります。こういった大きな工事があると、その最後の一押しで都市下水路の崩落が起きかねないと思いますので、それについての対策を教えてください。

組 合)

雨水につきましては、敷地内に降った雨を一度調整池に集水しまして、そこで調整しながら排水を行います。流れてきた雨をそのまま流すわけではなく、排水量を調整しながら排出する計画ですので、下流の方で雨水があふれてしまうことはありません。御安心ください。

参加者)

今日は工事説明会ということなので、工事の期間中についての話を質問したのです。

組 合)

工事中につきましては、調整池ではなく仮設沈砂池を設けており、敷地内に降った雨は仮設沈砂池に一度集水し、泥等を一旦沈めてその上水を敷地の外へ流すように調整しております。

参加者)

仮設沈砂池がずっと工事の期間中あるわけではないですよ。工事の進展に伴って、沈砂池がなくなる時があるかと思います。そういった時の対応まで含めてお願いします。

事業者)

仮設沈砂池につきましては、工事の最後まで残す予定です。その部分の仕上げは、一番最後に施工します。周りの敷地は、緑化や道路整備を行いますので、排水の濁水等は発生しない状況になるかと思っています。

参加者)

分かりました。

参加者)

先ほどの方の意見に付随しますが、金田グラウンドの脇に水路があります。雨水はそこを通過して出ていくのだと思いますが、金田グラウンドの脇のところに橋を渡すようなパイプが通っています。そのパイプの容量がとても小さいのです。8月中の大雨の時にもパイプの上限ギリギリまで水があふれていました。全体の水が来た時に備え、金田グラウンドのパイプの補修等は考えておりますでしょうか。

参加者)

私が先ほど聞いたのは、今、発言された方が言われたことと同じです。組合は現場を知っていて、地域の内容もよく知っているはずなので、それで聞いたのです。

組 合)

雨水があふれることがないように、工事期間中は仮設沈砂池、その後も調整池を設けて調整して雨水を放流しますので、我々の工事が原因で崩落することはないと考えております。

参加者)

建設地に土砂を持ってきて埋立てをしています。土砂の管理はどのようにされているのか。どのように検査をしているのか。まずいものが入ってきってしまうと、二次公害になってしまうので、特に放射能とかダイオキシンとか。建設廃土を持ってきていると先ほど聞いたのですが、複数の場所から建設廃土を持ってきているのでしょうか、中には悪い業者だと、建設廃棄物を中に混ぜて持ってきってしまうことも結構あったりするので、土砂の管理というのは検査も含めてどのようにしているのか。

組 合)

土砂につきましては、橋本の中央新幹線神奈川県駅（仮称）の工事現場から搬入しております。それにつきましては、土壤汚染対策法に基づきまして人為由来の物質について検査を行った結果、

汚染の可能性がないことが確認されましたので、今は5000㎡に一度自然由来の重金属8物質を基本として検査をして、合格したものを搬入して盛土に使っております。

参加者)

検査結果は後で教えていただけるのでしょうか。

組合)

それは可能です。

参加者)

分かりました。放射能についてはどうですか。福島原発で出ましたので、それが飛んできて堆積してて、こちらに持ってきてしまったというのは嫌です。

組合)

発生する土砂は、土の下から出ているものを搬入しておりますので、放射能に汚染されているものはないと認識しております。

参加者)

そうですか。重金属汚染等はないと保証していただけるのでしょうか。

組合)

それは検査結果が出ておりますので御安心下さい。

参加者)

土砂は、実際見ていますか。中に変なものが混じっていないかなど。

組合)

搬入する前に、我々と組合の管理者も含めまして、現地を確認しております。そこで、確かにこの土砂であれば大丈夫ということで、当然検査結果も含め確認しております。

参加者)

分かりました。ありがとうございます。

参加者)

環境保全の観点からお聞きしたいのですが。厚木市では今年度、カーボンニュートラルに合わせてCO₂削減の目標値を、2030年に2014年を基準に50%以上削減するという方向で調整をしています。今年度中に、それを発効する予定になっています。最終的には、2050年カーボンニュートラルを目指すという市長の表明があってそれを実現しようとしている。その観点からこの施設が厚木市内にありますので、どういう方策を立てているかをお聞きします。具体的には稼働時にCO₂の排出量をどの程度見込んでいるか、例えば1炉何トンとか、煙突から出るCO₂の濃度がどのくらいを見込んでいるのか。CO₂の削減を目指してどのような方策を立てているか、例えばごみ発電以外に何か方策があれば示していただきたい。もう一つ違う観点から焼却灰について。焼却灰は資源化しますが、焼却できない最終的な廃棄物、有価物、それをどの程度見込んでいるか。焼却灰関係について教えてください。

事業者)

煙突から排出されるCO₂ですが、1炉運転の時におよそ52,989m³/日を見込んでおります。最も運転条件として多い2炉低負荷運転時は、2炉合計でおよそ95,380m³/日を見込んでおります。CO₂削減としては、LED等建物内には環境負荷の低減に適合した設備の導入を行い、消費電力の削減によりCO₂を削減します。発電能力としては3000kWを逆潮できますので、かなりエネルギー回収も高い施設となっております。

組 合)

2つ目の御質問の焼却灰以外の処理の関係でございますが、不燃残渣というものがあるかと思えます。こちらにつきましても国内には資源化できる業者があることは、組合でも把握しております。現実的にできるかどうかということも今確認しておりますが、資源化の方で考えているところでございます。量については、手元にないのでお答えできない状況です。

参加者)

有価物の方は、見込みが分からないということですか。

組 合)

有価物については当然売却になります。量については、まだ分かりません。

参加者)

排ガスの中のCO₂の濃度については、どの程度になるか見込みは出ていますか。

事業者)

およそ10%を見込んでおります。

参加者)

ありがとうございました。

参加者)

施設整備の基本方針や施設の概要や特徴等は前回の説明会と変わりないのですが、実際にこれらが稼働する時までまだ日数、年数があるので、炉の改善とか改良とか性能を上げていく活動をされていると思います。具体的に最近どのような成果が出ているのか教えてください。

事業者)

炉の性能向上ですが、最近ですと火格子を冷却する送風機を増やし、火格子の損耗を抑制しています。火格子が損耗しますと隙間の空気が流れやすくなり、空気量が多くなるとNox等につながるため、余計な空気が入らないよう工夫をしております。また、ACCと言われる自動制御システムを導入して、常に良い状態で燃やせるようにしております。

参加者)

ありがとうございます。

参加者)

令和7年以降に開業予定ですが、それ以降、従来から動いている厚木市環境センターについて

は同時進行で稼働していくのでしょうか。CO₂やダイオキシンもその分、量が増えてしまうのではないのでしょうか。

組 合)

新たな施設が令和7年12月に稼働しますので、それまでの期間は厚木市環境センターは稼働して焼却も行います。新たな施設ができた後は稼働を停止して、その後解体をする予定です。

参加者)

解体した後は、新たに建設して新しいものができることはないのでしょうか。

組 合)

はい。現在の厚木市環境センターには、焼却の工場とごみ収集車の基地があります。ごみ収集車の基地については、引き続き収集の仕事は市町村で行いますので残る予定ですが、工場は解体します。その後の利用は、厚木市で検討中であり、まだ決まっておりません。

参加者)

令和7年12月から稼働し始めるということなので、稼働するに際して公害関係のことは注意しながら進めると思いますが、運営に関して地元の理解を図るために、協定みたいな約束事を作っていった方がいいのではないかと思います。こういうごみ焼却場のある地域では、地元との協定を実際に作って、運営しているところが結構あると聞いていますが、その考え方は今現在ありますか。それとISO関係の認証取得に関しても5年くらい前からずっと検討していると聞いていますが、どのような検討をしたのでしょうか。

組 合)

一つ目の地元との運営協定のような話についてですが、ごみ焼却場を建設する地元と協定を結んでいる事例も承知しております。組合の方でも令和7年12月の稼働に向けて、その辺は研究していきたいと考えております。

参加者)

やはり地元の理解が必要ですので協定を作るに当たっても、地元の要求とか運営側の要求とかいろいろあるかと思います。その辺の調整も図っていくような話し合いも必要かと思いますので、行く行くここ3年くらいかけてやっていった方がいいのではないかと思います。金田に環境保全委員会がありますが、地元の人はどうのように考えているのか、運営に関して話し合いが必要なのではないかと思います。ISOに関しては、どのような検討をしたのでしょうか。

組 合)

ISOにつきましては、令和7年12月以降に施設を運営する荏原環境プラントの方で取得しております。組合では今のところその考えはございません。

参加者)

ISO 14001ですか。9001ではないですよ。

組 合)

往原環境プラントの方でISO 14001を取得しているのです、これに基づいて運営をしていくことになります。組合としましては、厚木市が令和3年の3月に改定しております厚木市地球温暖化対策実行計画にのっとり、厚木市と組合が協力して環境負荷低減に努めております。それをISO 14001の認証取得に代わる環境マネジメントシステムとして我々は取り組んでいるものです。

参加者)

そのマネジメントシステムの中で外部監査については触れていらっしゃいますか。外部監査というのは、他の組織や団体が運営に関して調査するようなやり方です。

組 合)

そこまで把握しておりません。

参加者)

先ほど申しましたように、地元の理解というのがやはり必要だと思います。運営側と地元が互いに信用し合えるように、監査ではないですけどもそういう機会を設けて、これから先ずっと年に1回ずつ行っていくようなやり方というのは必要かと思いますので、それは御承知おきいただきたいと思います。協定の内容についても、地元の要求、運営側の要求いろいろあるので、その内容を詰めていく打合せもしていきたいと思っております。

組 合)

貴重な御意見ありがとうございました。

参加者)

先ほど、地元との間の協定書は検討中ですという事務局次長のお答えですが、地元と言ってもいろいろな考え方の方がおりまして、今日も出席されていますが環境保全委員会の委員長で前にやった方が、「住民の意見なんて聞かぬ一よ」というふうにおっしゃったこともあります。環境保全委員会との間の協定書ではなくて地元住民が納得するような形での協定書の締結を是非御検討いただきたいと思います。代表者は自分の意見だけで決めてしまいますから駄目です。

参加者)

基礎工事で杭は何本打ち込むのか。それと、20m打ち込むことになっていますが、あの場所で20m打ち込むと、地下水脈に当たるのではないのでしょうか。地下水脈に影響を及ぼすことも、素人考えですが心配してしまいます。それと地下水脈に影響してしまうと地盤自体が水で流されて動いてしまって、いつの間にか基礎の下の地盤がなくなってしまうパターンも聞いたことがあるのですが、その辺りはどうなんですか。建設設計関係でどのように検討されたのでしょうか。

組 合)

杭の本数につきましては222本を計画しております。20mよりも長い杭と短い杭とあって、平均して20m位の杭を打つ計画ですが、地下水脈に影響するようなことはないと考えております。

参加者)

ボーリングは何回か行っておりますよね。それで確かめているのですか。

組 合)

当然、杭の設計をするにはボーリング調査をしないと、支持地盤が何mで出てくるのか等、そういったことが分かりませんので、事前にボーリング調査を行っております。

参加者)

ということは、地下水脈があるとして、地下水脈を貫いて下まで到達していることになりませぬ。建設前の田んぼの時に1回ボーリング調査をして地下の水脈関係を調査したことがあったはず。その関係のデータからそういう設計になったと理解していいですか。

組 合)

今回の設計の前に、去年の今ぐらいに現場の敷地内でボーリング調査をしております。その結果から杭の長さを決めたという経緯です。

参加者)

素人が心配していて申し訳ないです。どうもありがとうございました。

参加者)

環境影響評価の事後調査ですが、今年7月に神奈川県へ事後調査の報告を出したのは、令和3年度のものでしょうか、それとも令和4年度のものでしょうか。

組 合)

今年の7月に縦覧したものは、令和3年度に調査した結果です。縦覧期間は終わったのですが、組合のホームページでもその内容は確認できますので、それを見ていただければと思います。

参加者)

はい。分かりました。

《厚木愛甲環境施設組合第6回事業報告会（工事説明会）の様子》

10月15日（土） 依知南公民館

